



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福
 コード番号 7441 URL http://kk-misumi.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役サポート本部長 (氏名) 平田 慶介 (TEL) 099-260-2213
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,223	△16.6	561	26.2	779	24.7	480	20.5
2020年3月期第2四半期	27,841	△2.9	444	56.5	625	34.6	398	41.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 743百万円(63.5%) 2020年3月期第2四半期 455百万円(△15.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	79.87	—
2020年3月期第2四半期	66.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	33,391	17,319	51.1
2020年3月期	34,641	16,717	47.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 17,048百万円 2020年3月期 16,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	20.00			
2021年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,613	△17.0	1,117	△6.5	1,486	△8.4	837	63.8	139.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	6,100,503株	2020年3月期	6,100,503株
2021年3月期2Q	93,369株	2020年3月期	84,669株
2021年3月期2Q	6,013,039株	2020年3月期2Q	6,029,834株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で個人消費・経済活動に顕著な落ち込みが見られました。緊急事態宣言発令により制限されていた経済活動は徐々に再開されましたが、新型コロナウイルスの感染収束は未だ見通せず、依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況の中で当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、在宅勤務や時差出勤を行い、店舗における「3密」(密閉・密接・密集)の回避や訪問による営業活動の自粛などの対策を講じました。訪問営業を自粛・制限せざるを得ないことから、ダイレクトメールやチラシのポスティングをメインとした活動を行い、収益確保に努めました。また、令和2年7月の熊本県南部豪雨災害において、人吉・八代地域の支店・店舗は浸水の被害により一時休業を余儀なくされた店舗もありましたが、早急の復旧工事を推し進め、順次営業を再開いたしました。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で燃料油やL Pガスの需要が減少したことに加え、原油価格が前期に比べ低調に推移したことにより、エネルギー関連商品の販売価格が低下した影響等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は232億23百万円(前年同四半期比16.6%減)となりましたが、利益面ではガソリンなど石油製品市況が好転したことや、K F C・ピザハットにおいてテイクアウト需要の増加で好調だったことにより、経常利益は7億79百万円(前年同四半期比24.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億80百万円(前年同四半期比20.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、広域法人営業課において、法人カード業務を集約管理することで営業効率を高めるとともに、F Cカード請求書の発行業務を外部に委託し、事務作業の効率化を図りました。販売面においては、経済活動の自粛により、個人を主体とした石油製品の販売数量が減少する等、新型コロナウイルスの影響を受けました。

ガス部門では、面談による営業活動を自粛する中、入札案件への積極的参加及び季刊誌や時季商品を取り扱ったチラシのポスティングをメインとした活動を行い、収益確保に努めました。また、令和2年7月の熊本県南部豪雨災害で浸水の被害を受けた人吉オートガスS S(熊本県人吉市)につきましては、新たな設備投資の回収が見込めないと判断し、8月末で閉店いたしました。

以上の結果、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で燃料油や業務用におけるL Pガスの需要が減少したことに加え、原油価格が前期に比べ低調に推移したことにより、エネルギー関連商品の販売価格が低下した影響等から、売上高は163億90百万円(前年同四半期比23.9%減)となりましたが、ガソリンなど石油製品市況が好転したことにより、セグメント利益(営業利益)は4億37百万円(前年同四半期比25.0%増)となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、学校の休校等により自宅待機となった学生や児童向けの自宅学習用の参考書や児童書・実用書の販売の強化を行いました。また、企業や学校等がテレワーク・遠隔授業を実施したことに伴い、パソコン・タブレット需要が増加しました。

オプシアミスミでは、お客様・従業員の安全確保を第一に、施設内のソーシャルディスタンス確保等、感染防止策を実施するとともに、飲食店の持ち帰り共同販売所やゴールデンウィーク中のドライブスルーテントの設置等、ウィズコロナ社会の「新しい生活様式」に適合した施策に取り組みました。

以上の結果、売上高は37億53百万円(前年同四半期比8.5%増)となりましたが、自動車部門において、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、タイヤの需要が落ち込んだことにより、セグメント利益(営業利益)は92百万円(前年同四半期比19.1%減)となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力形態であるK F Cにおいて、店舗の改装を進めるとともに、ロス削減によるフードコスト管理を徹底させ、収益改善に努めました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、店内飲食の中止等を実施しましたが、お客様の「3密」(密閉・密接・密集)を避ける動きにより、ピザハットの宅配やK F Cのテイクアウト需要が大幅に増加しました。一方、採算の悪化していた八重瀬鹿兒島店(鹿兒島市)を9月末で閉店いたしました。

以上の結果、売上高は30億80百万円(前年同四半期比7.9%増)、セグメント利益(営業利益)は3億88百万円(前年同四半期比28.7%増)となりました。

(上記金額には、消費税等は含まれておりません。)

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べて12億49百万円減少し、333億91百万円となりました。これは主に、投資有価証券が増加する一方、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べて18億50百万円減少し、160億72百万円となりました。これは主に、賞与引当金が増加する一方、長期借入金や買掛金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べて6億1百万円増加し、173億19百万円となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、売上債権の減少10億48百万円及び税金等調整前四半期純利益7億25百万円等の資金の増加がありましたが、借入金の減少11億71百万円、固定資産の取得5億62百万円及び仕入債務の減少4億53百万円等の資金の減少により、前連結会計年度に比べ6億82百万円減少し、当第2四半期連結累計期間は45億88百万円(前年同四半期比22.6%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加額は、12億6百万円(前年同四半期比17.9%減)となりました。これは主に、仕入債務の減少4億53百万円及び法人税等の支払い3億46百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少10億48百万円及び税金等調整前四半期純利益7億25百万円等の資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少額は、5億68百万円(前年同四半期比67.6%増)となりました。これは主に、固定資産の取得5億62百万円等の資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少額は、13億19百万円(前年同四半期比51,137.1%増)となりました。これは主に、借入金の減少11億71百万円及び配当金の支払い1億20百万円等の資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、2020年11月11日公表の「2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,087,102	5,404,697
受取手形及び売掛金	4,200,017	3,171,686
商品及び製品	2,636,924	2,575,562
仕掛品	21,602	19,144
原材料及び貯蔵品	30,053	27,592
その他	487,721	609,707
貸倒引当金	△17,848	△13,613
流動資産合計	13,445,574	11,794,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,899,818	3,879,010
土地	11,885,258	11,900,788
その他（純額）	1,097,069	1,315,272
有形固定資産合計	16,882,145	17,095,071
無形固定資産	435,062	418,633
投資その他の資産		
その他	4,055,957	4,265,157
貸倒引当金	△177,354	△181,658
投資その他の資産合計	3,878,603	4,083,499
固定資産合計	21,195,811	21,597,204
資産合計	34,641,385	33,391,981
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,923,996	1,470,842
短期借入金	4,285,000	4,255,000
1年内返済予定の長期借入金	2,752,000	2,562,000
未払法人税等	377,108	264,809
賞与引当金	269,060	294,840
その他	1,494,780	1,324,011
流動負債合計	11,101,945	10,171,503
固定負債		
長期借入金	5,070,989	4,119,989
役員退職慰労引当金	705,100	715,180
その他	1,045,604	1,066,262
固定負債合計	6,821,693	5,901,431
負債合計	17,923,639	16,072,934

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	13,078,170	13,438,145
自己株式	△143,004	△158,384
株主資本合計	16,272,666	16,617,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339,314	576,218
退職給付に係る調整累計額	△166,625	△144,708
その他の包括利益累計額合計	172,689	431,509
非支配株主持分	272,390	270,276
純資産合計	16,717,746	17,319,047
負債純資産合計	34,641,385	33,391,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	27,841,717	23,223,847
売上原価	21,993,978	17,139,549
売上総利益	5,847,738	6,084,298
販売費及び一般管理費	5,403,147	5,523,052
営業利益	444,591	561,245
営業外収益		
受取利息	1,452	1,370
受取配当金	41,686	40,042
受取賃貸料	66,409	73,726
その他	136,979	151,230
営業外収益合計	246,527	266,369
営業外費用		
支払利息	29,446	25,139
賃貸費用	6,380	6,607
固定資産除却損	11,864	4,321
その他	18,071	11,768
営業外費用合計	65,763	47,837
経常利益	625,355	779,777
特別利益		
固定資産売却益	11,419	486
特別利益合計	11,419	486
特別損失		
災害による損失	—	54,365
特別損失合計	—	54,365
税金等調整前四半期純利益	636,774	725,897
法人税、住民税及び事業税	213,182	237,158
法人税等調整額	13,688	4,472
法人税等合計	226,871	241,631
四半期純利益	409,903	484,266
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,448	3,975
親会社株主に帰属する四半期純利益	398,454	480,291

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	409,903	484,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,938	236,903
退職給付に係る調整額	9,176	22,571
その他の包括利益合計	45,114	259,475
四半期包括利益	455,017	743,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	443,209	739,111
非支配株主に係る四半期包括利益	11,808	4,630

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	636,774	725,897
減価償却費	349,777	335,747
固定資産除却損	11,864	4,321
のれん償却額	16,989	23,076
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,885	67
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,399	25,780
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	18,000	10,080
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△8,188	△7,484
受取利息及び受取配当金	△43,138	△41,412
支払利息	29,446	25,139
固定資産売却損益(△は益)	△11,419	△486
災害損失	—	54,365
受取保険金	△401	△1,542
売上債権の増減額(△は増加)	1,188,750	1,048,986
たな卸資産の増減額(△は増加)	65,783	66,281
仕入債務の増減額(△は減少)	△244,221	△453,153
その他	△289,737	△274,907
小計	1,709,995	1,540,756
利息及び配当金の受取額	41,968	40,230
利息の支払額	△29,547	△24,423
災害損失の支払額	—	△5,146
保険金の受取額	401	1,542
法人税等の支払額	△253,032	△346,465
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,469,785	1,206,495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△334,786	△562,909
固定資産の売却による収入	21,920	3,945
投資有価証券の取得による支出	△15,270	△16,553
差入保証金の差入による支出	△6,323	△1,642
差入保証金の回収による収入	1,861	2,634
貸付けによる支出	—	△462
貸付金の回収による収入	1,867	5,987
その他	△8,799	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△339,530	△568,971
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	—
短期借入金の返済による支出	△180,000	△30,000
長期借入れによる収入	1,600,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△1,601,000	△1,441,000
リース債務の返済による支出	△7,171	△6,765
自己株式の取得による支出	—	△15,380
配当金の支払額	△108,409	△120,038
非支配株主への配当金の支払額	△5,995	△6,744
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,576	△1,319,929
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,127,679	△682,405
現金及び現金同等物の期首残高	4,799,351	5,271,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,927,031	4,588,995

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,529,147	3,457,815	2,854,754	27,841,717	—	27,841,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,332	47,511	2,369	61,213	△61,213	—
計	21,540,480	3,505,326	2,857,123	27,902,930	△61,213	27,841,717
セグメント利益	350,327	113,737	301,685	765,751	△321,159	444,591

(注) 1 セグメント利益の調整額△321,159千円には、セグメント間取引消去2,407千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△323,567千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,390,392	3,753,287	3,080,166	23,223,847	—	23,223,847
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,343	47,800	1	56,145	△56,145	—
計	16,398,736	3,801,088	3,080,167	23,279,992	△56,145	23,223,847
セグメント利益	437,950	92,039	388,210	918,200	△356,955	561,245

(注) 1 セグメント利益の調整額△356,955千円には、セグメント間取引消去1,861千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△358,816千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。